下部消化管の血流評価

下部消化管の血流評価: CQ 1
ICGの推奨投与量はいくらか？

- **ICGは5～15 mg/bodyあるいは0.1～0.3 mg/kgを急速に静脈内投与することが推奨される。**
  （強い推奨）

下部消化管の血流評価: CQ 2

どのような環境で血流評価を行うことが推奨されるか？

- **体腔内で血流を評価する場合、外乱光の影響を排除する必要はない。**
  （弱い推奨）
- **体腔外で血流を評価する場合、外乱光の影響を排除するために、手術室内の照明を消灯することが推奨される。**
  （弱い推奨）

下部消化管の血流評価: CQ 3

どのようなタイミングで血流評価を行うことが推奨されるか？

- **吻合前に血流を評価することが推奨される。（強い推奨）**
- **吻合前後に血流を評価することが推奨される。（弱い推奨）**

下部消化管の血流評価: CQ４

どのように血流の有無を判断することが推奨されるか？

- 漿膜面または粘膜面から観察し、腸管壁の蛍光の有無を評価し、血流の有無を判断することが推奨される。
  （強い推奨）
- ICGを投与して60秒以内に腸管壁の蛍光が確認できない場合、血流不良と判断することが推奨される。
  （弱い推奨）

下部消化管の血流評価: CQ 5

どのように手術プランを変更することが推奨されるか？

- 吻合前の血流評価において、血流不良と判断した場合、腸管壁の蛍光が確認される部位まで腸管を追加切除することが推奨される。
  （強い推奨）
- 吻合後の血流評価において、血流不良と判断した場合、再吻合を行うことが推奨される。
  （弱い推奨）

下部消化管の血流評価: CQ 6

右側結腸切除術において、血流評価を行うことは推奨されるか？

- **縫合不全発生率の低下に寄与する可能性があるため、血流評価を行うことが推奨される。**
  （弱い推奨）

下部消化管の血流評価: CQ 7

左側結腸切除術において、血流評価を行うことは推奨されるか？

- **縫合不全発生率の低下に寄与する可能性があるため、血流評価を行うことが推奨される。**
  （弱い推奨）

下部消化管の血流評価: CQ 8

直腸切除術において、血流評価を行うことは推奨されるか？

- **縫合不全発生率の低下に寄与する可能性があるため、血流評価を行うことが推奨される。**
  （強い推奨）